

**青少年健全育成推進大会**  
**子どもの夢と明るい未来のために**

7月5日、市民会館（手代町）で「白河市青少年健全育成推進大会」が開催されました。「少年の主張」では、市内の中学生8人が日常生活で感じたこと、体験したことなどを発表しました。今年から審査と表彰を大会中に行い、市長賞や会長賞などを決定しました。会場には、発表を聞くために各学校から生徒が来場し、発表の内容に共感したり、感動したりする姿が見られました。



▲市長賞を受賞した山本遥さん（白河中央中3年）

**災害時における相互応援に関する協定**  
**那須塩原市と災害時に備え連携**

7月2日、本市は、那須塩原市と災害時の相互応援協定を締結しました。この協定は、災害発生時に、食料や避難場所の提供、職員の派遣などを行うものです。東日本大震災では、近隣の那須町や本市の友好都市である行田市・桑名市・戸田市のほか災害協定を締結している板橋区・沼田市などの支援が大きな助けとなりました。今後も那須塩原市をはじめ、関係自治体との連携を図り、災害時の協力体制を強化していきます。



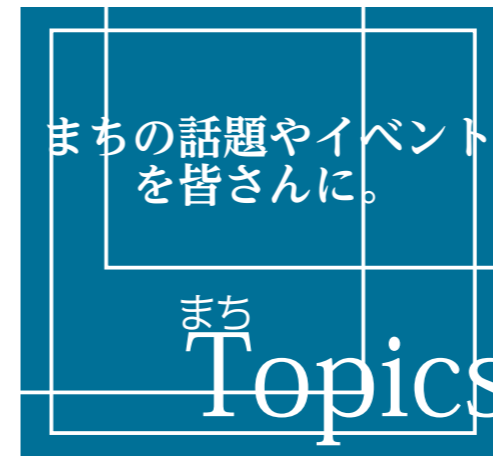
▲岡久津憲二那須塩原市長と鈴木市長

**放置自転車撤去**  
**駐輪場の利便性向上を目指して**

6月28日、市はJR白河駅とJR新白河駅前に放置されていた自転車113台の撤去作業を行いました。路上に置かれた放置自転車は、緊急車両等の通行の妨げや、歩行者の安全を脅かす原因となります。また、路上や公園等に無造作に放置されるとまちの美観を損ねます。市では、放置自転車の撤去作業を定期的に行いながら、今後も駐輪場の利便性の向上や自転車利用マナーの啓発に取り組んでいきます。



▲重機で撤去される自転車



▲ケーシー高峰さんの講演に笑いが絶えない観客の皆さん

**笑って健康いきいき事業**  
**笑いで免疫力アップ！**

市では今年度から、笑って健康いきいき事業に取り組んでいます。7月14日には、市民会館（手代町）で「笑って健康いきいき講演会」が開催されました。講演会に先立ち「白河市糖尿病ゼロ作戦標語コンクール表彰式」が行われ、浜木健太郎さん（白二中2年）の標語「生活を見直すことが第一歩」が最優秀賞に選ばれました。講演会では、ケーシー高峰さんの「笑って笑って健康」、一般社団法人日本作業療法士協会の岡本宏二さんの実践「笑ってみよう！」が行われました。会場は1,000人を超える来場者で埋め尽くされ、笑いに包まれていました。また、7月13日には、東文化センター（東釜子）で「笑って健康いきいき音楽会」が開催され、来場者は、ピアノとドラムの演奏による歌を楽しみました。



▲笑って健康いきいき音楽会の様子

**ファミリーサポートセンター開所式**  
**地域で子育てを応援します**

7月23日、七番町で「ファミリーサポートセンター」の開所式が行われました。ファミリーサポートセンターは、お子さんの送迎や一時的な預かりを行います。サービスを利用できるのは、市内に住所を有する方または市内に勤務している方で、小学6年生までのお子さんを養育している方です。利用するには会員登録が必要です。登録方法や利用料金など、詳細はお問い合わせください（☎同センター ☎②9907）。



▲開所を祝い関係者がテープカット